

# プログラム

10:00 ~ 10:05	開会の辞	学術集会実行委員長	古賀公明
10:05 ~ 11:05	口演セッションⅠ〈対話の医療を実践する〉	座長 済生会向島病院 外科 東京トータルライフクリニック	村田 透 大脇千代美
①	対話の医療により改善した解離性障害に不安障害とうつ病を伴う眩暈症の1症例	昂希内科クリニック	小番英裕
②	難病を次々と引き受けられ、笑顔で在宅生活を過ごせるようになった独居者の体験	あすか訪問看護ステーション	梅下千代子
③	『新・祈りのみち』の「助力のための祈り」を手がかりにした対話の医療についての考察： 強迫性障害事例との体験から	西岡病院 精神科	東中園 聡
④	TL人間学による在宅での看取りの1例を体験して	トータルライフ訪問看護ステーション雷門	三吉裕子
11:05 ~ 12:25	ワークショップ〈トータルに受けとめ、トータルな癒しを目指す 精神科領域における予測・予防医療の実践〉	座長 中川の郷療育センター	許斐博史
①	思春期における発達障害事例への関わり	島根大学教育学部心理・発達臨床講座	稲垣卓司
②	「魂の学」から見た成人期精神障害の諸問題——発達障害をめぐって	藤枝市立総合病院 心療内科・精神科	福島一成
③	認知症の予測・予防について	オリブクリニックお茶の水	山本三幸
12:25 ~ 12:45	トータルライフ医療研究会2015年度総会		
12:45 ~ 13:25	昼食休憩		
13:25 ~ 14:55	シンポジウム〈医療者として死にゆく方々の心の痛みと向かい合う〉	座長 東京トータルライフクリニック	馬淵茂樹
①	基調講演	上智大学グリーンケア研究所所長	島蘭 進
②	講演1	上尾甞生病院	井口清吾
③	講演2	子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田	前田浩利
14:55 ~ 15:55	ポスターセッションⅠ、Ⅱ同時進行		
ポスターセッションⅠ〈医療者が意識を転換し、システムを整える実践〉			
	座長	梅ノ辻クリニック 脳神経外科 トータルライフ訪問看護ステーション雷門	山田洋司 江川恵子
①	多職種がチームになり、協働できる支援体制を整えた生活保護・独居の男性の1例	訪問看護ステーションあおぞら	的場千賀子
②	「因縁果報ウイズダム」に基づく実践により、著明に改善した閉塞性黄疸の1例	やまもとクリニック	山本玉雄
③	最先端医療によって救命された「いのち」を支える訪問看護の実践	訪問看護ステーションそら	山岸康幸
④	医療を「因縁果報ウイズダム」の縁と捉えた包括医療システムが奏功したと考えられる 悪性リンパ腫の1例	中央病院 消化器内科	古賀哲也
ポスターセッションⅡ〈TL人間学に基づく医療経営への挑戦〉			
	座長	まつおTCクリニック	真栄城修二
①	「因縁果報ウイズダム」に基づく実践で、健康・生活・人生を支える健康寿命延伸を 目的とした診療に転換した、一かかりつけ医の挑戦（第Ⅱ報）	うめした内科	梅下滋人
②	TL人間学を基とした在宅歯科医療と外来診療の融合した歯科医院開設を目指して設立した 医療法人の歩みの報告	阿蘇さずな歯科医院	我那覇生純
③	肛門疾患専門クリニックにおける、TL人間学に基づく医療実践	小村肛門科医院	小村憲一
④	「因縁果報ウイズダム」による新しい医療・看護・介護連携システム構築への挑戦	医療法人社団紺井医院	紺井一郎
15:55 ~ 16:20	口演セッションⅡ〈予測・予防医療のフロント〉	座長 くまがい眼科	熊谷和久
予測・予防医療のフロント——副腎疲労症候群について		東京トータルライフクリニック	藤 純一郎
16:20 ~ 17:05	口演セッションⅢ〈予測・予防医療を実践する〉	座長 東京トータルライフクリニック	穴水聡一郎
①	TL医療を基とした眼科医療	細木眼科	細木敬三
②	心（因）とライフスタイル（縁）の変革により、著明に改善した生活習慣病の10例	江別市立病院 総合内科	高橋早織
③	当院において開始したロコモ外来の現況と今後の課題について	東京都済生会向島病院 整形外科	井上 清
17:05 ~ 17:35	口演セッションⅣ〈地域を守る医療実践〉	座長 永寿総合病院 総合内科 東北大学病院がんセンター	池田啓浩 吉田久美子
①	「因縁果報ウイズダム」実践により、生活・家族・人生・近隣地域など全側面から サポートする、上下関係のない多職種連携体制を看護師が要となり構築した挑戦	うめした内科	花田美那子
②	透析スタッフによる災害時医療連携システム——富士市透析防災ネットワークの活動——	富士市立中央病院 腎内科	笠井健司
17:35 ~ 17:40	閉会の辞	学術集会実行委員長	古賀公明